



まねん

第44号

平成30年
8月1日

ご挨拶

病院長 宮本 勝也

サッカーワールドカップにおいて、日本は強豪コロンビアを撃破、その後セネガルとは今まで見たことのない様な粘り腰を披露し、最後ポーランド戦は薄氷の思いでしたが、遂に決勝トーナメント進出を決めました。ベルギー相手にジャイキリ(番狂わせ)は出来たのでしょうか。

さて、当院はこの4月から診療体制が大きく変わりました。特に内科において、常勤医師が3人退職されて、赤木先生、今川先生が着任されました。紹介医の先生方や患者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、おかげさまで無事軌道に乗れました。7月からは赤木先生が診療部長、城戸先生が副診療部長にそれぞれ昇任し、更に強い体制をとりたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

また一階の受付横に新しい売店がオープンしました。「生活彩家」というコンビニエンススト



アで、店内は広くなり商品も充実しました。簡単なイートインコーナーもあり、是非ご利用いただければと思います。来年9月まで各所において改修工事が続き、皆様にはご迷惑をおかけしますが、何とぞご容赦ください。

患者さんが安心して受診できる、安らぎの環境を整備し、信頼と満足感の得られる最高の医療を提供するのが我々の使命です。引き続きよろしくお願いいたします。

診療部長就任のごあいさつ

消化器センター・内科 診療部長 赤木盛久

このたび、平成30年7月1日付で診療部長に就任しました内科の赤木盛久です。広島記念病院には、三か月前の4月1日に隅井元副院長の後任として着任したばかりですので自己紹介いたします。

広島大学医学部を卒業し4年間内科医として基礎訓練を受け、以後4年間、広島大学大学院に在籍し消化器癌と遺伝子に関する研究を行う一方、胃腸病変の内視鏡診断と治療に取り組みました。学位取得後、県立安芸津病院等で消化器内科医として食道・胃・大腸癌の内視鏡診断・治療に研鑽を積みました。

平成13年より1年間、米国のMDアンダーソン癌センターに留学させていただき、消化器癌と分子標的薬に関する研究を行いました。帰国後、県立広島病院に勤務し、内視鏡治療を主体とする消化器内科診療に従事しました。基本的に鎮痛・鎮静剤を使用しない方針でしたので患者様に苦痛のない安楽な内視鏡を行うことを常に心がけていました。

一方で、初期研修医の教育を担当しました。教育担当になって間もない頃、米国のアイオワ大学方式の研修医教育方法を学ぶためハワイで行われた日米合同講習会に参加しました。米国では、研修医教育システムが全米で統一化されており、医師の業務の中で教育がきわめて重要視され評価の対象となっていました。研修医に対する迅速で頻回な、多方面（看護師や患者も含めます）からの評価とフィードバック、チーム医療、屋根瓦方式等、米国の研修体制は当時の日本とは大きく異なっており見習う点が多々ありました。以後10年間以上指導医として年を重ねるにつれ理想の指導医はどうあるべきか、また研修医の能力をうまくひきだしていくにはどうすべきか、といったことを模索するようになりました。指導医は日々の臨床のなかで研修医に一方的に教えるだけでなく研修医からも多くを学んでいく姿勢を保つ必要があります。日々の臨床の中で研修医とともに悩み、彼らと同じ土俵にたち問題を解決しあい、お互いを高めあっていくことが理想的な研修医教育であり、ひいては、そのような教育が病院自体の発展、活性化に繋がることを確信しました。約6年前より県立広島安芸津病院に勤務し、県立広島病院初期研修医の安芸津地域医療研修システムの確立のために尽力させていただきました。

一方、同病院は患者さんが介護状態となっても人生の最後まで自分らしい暮らしを続けることができるような、住まい・医療・介護・生活支援・予防が一体となった地域医療包括ケアシステムの実現に重点を置いていました。実際、地域の診療の場において、廃用症候群・認知症・骨粗鬆症等を有する高齢の患者さんが、嚥下障害による肺炎や排尿障害に基づく尿路感染や転倒等による骨折により、QOLを著しく低下させていく現状を目の当たりにしてきました。予防医学の重要性、特に体を意識して動かすことの重要性を痛感しております。

広島記念病院は、消化器疾患のトップランナーを目指すと同時に、地域の基幹病院として地域・在宅医療への貢献が求められています。そのためには開業医の先生方との強い繋がりが欠かせません。私の果たすべき役割・目的は、地域の開業医の先生方と密なコミュニケーションを行うことで当院の信頼性を高めていくこと、そして内科医全員が同じ方向を向き力を合わせてチームとして医療に貢献することです。これまで培ってきた経験が生かせるよう努力してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。



副診療部長就任のごあいさつ

消化器センター・内科 副診療部長 城戸聡一郎

このたび、平成30年7月1日付けで副診療部長に就任しました城戸聡一郎です。

自己紹介を兼ねて、ごあいさつをさせていただきたいと思います。平成3年に広島大学を卒業し、旧第一内科(現 消化器代謝内科学)で平成8年にヘリコバクター・ピロリの研究を始めました。現在、萎縮性胃炎から胃癌が発生することは周知のことです。その知見は当時の我々のグループの他、世界中で実施された数十年にわたる疫学的研究や基礎研究から導かれたものです。ヘリコバクター・ピロリの研究が一段落してからは胃癌の遠隔転移と VEGF の発現について研究し、論文にしました。その後その論文は多くの引用をされたと聞いております。そして VEGF 阻害剤は、現在、大腸癌化学療法などで多用されております。私は、VEGF 阻害剤が発案される瞬間を、学会で訪れたテキサスで直接聞いた数少ない日本人の一人でもあります。その後は実臨床で生きることを選択し、研究から離れました。いくつかの病院を経ましたが、念願叶ってようやく平成27年に当院に着任し、現在に至っています。



当院内科は広島大学消化器代謝内科学から派遣されており、糖尿病、高血圧、肺炎などの一般診療はもちろんですが、主たる業務内容は消化器診療です。午前には外来や上部内視鏡、午後には下部内視鏡、治療内視鏡を実施しております。当院の内視鏡診療の特徴としては、広い診療圏の開業医の先生方から、多くのご紹介を頂いていることです。その理由に、高度な技術に基づいた信頼関係、予約の取りやすさ、治療・検査待ち期間の短いことが挙げられます。また、検査結果によっては手術が必要になることもあります。当院消化器外科は開業医の先生方、周囲の総合病院医師、患者様から高い評価をいただいています。当院で発見した消化器疾患については迅速に対応し、院内で手術・化学療法、緩和ケアなど集学的治療が完結しております。

また、当院は少子高齢化に対応して、平成27年4月に地域包括ケア病棟を新設しております。私は平成28年より同病棟の内科疾患を担当しています。坂下診療部長、職員とともに患者様の療養、在宅復帰の支援を行っています。

ごあいさつの最後になりますが、広島記念病院は自分が小学生の時に肺炎で入院し、医師を志そうと思うきっかけになった病院であります。私の知識、技術、人脈すべてを病院に捧げることをお約束します。今後ともよろしく願いいたします。



会計課 紹介

会計課は課長、課員 2 名の計 3 名で業務を行っております。

I. 現金管理

広島記念病院、介護老人保健施設 記念寿、合同庁舎診療所、広島記念診療所、立体駐車場の 5 カ所の現金収入の管理を行っております。収入額と収入伝票の整合性の確認、金額の確認を行い、収入金は毎日銀行へ入金手続きを行います。両替金の準備、仕訳伝票の作成も行います。

II. 預金の管理

職員の給与、業者への月末支払、税金の支払等、行っております。支払には、証拠となる証票書類の作成を行います。監査に耐えられるよう、日々会計規則に則って、業務を行っております。

III. 収入資料、事業計画、決算資料作成

患者数、日々の収入額、レセプト請求等より、毎月収入資料を作成します。事業計画では、患者数、職員数、購入物等より、次年度の収支の見込み計画を作成します。毎年、3 月～4 月にかけて 1 年間の決算資料を作成し、1 年間の経営成績を算出します。

※患者様の診療費については、デビットカード機での支払いが可能です。デビットカード機は、キャッシュカードがあれば、支払手数料無料で口座より引き落とし、支払いが可能です。診療費のために多額の現金を持ち歩く必要はございません。平成 30 年 5 月より、院内にて ATM の設置を行いました。急な現金が必要な際も、キャッシュカードがあれば、対応できます。売店もリニューアルし、患者様への利便性・快適さの向上を目指しております。



1 階総合受付横に設置



1 階 会計窓口と売店の間に設置

看護の日

5月12日は、近代看護の基礎を築いたナイチンゲールの誕生日であることにちなんで、「看護の日」に制定されています。そこで、当院では5月10日（木）看護の日を記念したイベントを開催しました。

参加された方が、自らの身体や健康を意識できる機会となるようなイベントを目指し、今年度は、血管年齢測定や、骨密度測定を行いました。また今後食中毒が懸念される時期になるため、普段の手洗いで、どのくらい汚れが残っているのかを知り、正しい手洗い方法を知ってもらったり、街中で目にする機会が増えたAEDの使用方法について理解してもらうイベントも開催しました。

地域の方、患者さんのお見舞いに来られたご家族など、総勢33名の方にご参加いただき、「健診でしか出来ないような検査もしてもらえて良かった」「今日、たまたま病院に来て、ラッキーでした」などの御意見をいただくことができました。

来年度も、地域の方に喜んでいただけるイベントになるよう企画・開催していきたいと思っております。



コンビニオープンのお知らせ

平成30年5月21日 コンビニ「生活彩家」が1階にオープンしました。

営業時間は平日7:30～18:00 土日7:30～15:00です。支払いは現金以外にも、交通系ICカードやWAON、Edy他、クレジットカードも使えます。合わせてATMも設置されましたので、どうぞご利用ください。



地域医療従事者研修会報告

日 時：平成 30 年 5 月 31 日（木）19：00～20：20

テーマ：「胃癌治療の new topic - 胃上部癌に対する噴門側胃切除、観音開き法再建 -」

講 師：広島記念病院 外科 豊田 和宏

参加者 31 名

「胃癌治療の new topic - 胃上部癌に対する噴門側胃切除、観音開き法再建 -」と題して、当院外科豊田医師による講演を行いました。

胃癌切除後は体重が 10%～20%減少するとされており、胃切除後の食事摂取低下や消化吸収障害が続くと、術後一旦落ちた体重、体力はなかなか戻りません。結果、仕事や趣味などに影響し QOL を損ねてしまうため胃の機能温存は重要です。

そこで今回は、胃全摘術後の食事摂取低下等の合併症減少を目的とした胃の機能温存に有効な術式として、強力な逆流防止機構を付加した食道残胃吻合「観音開き法再建」について紹介されました。

事例・手術の映像を交えて、適応・手技等についても詳しく講演していただき、術式をどのように選択するのかを知ることができた、胃の基本的な働きや術式による合併症など再確認することができたと感想をいただきました。

カフェ ココロ

日 時：平成 30 年 4 月 5 日（木）

テーマ：「認知症になったらどうすればいいの？」

講 師：介護老人保健施設 記念寿

介護福祉士 浦元こずえ

参加人数：8 名

広島記念病院、介護老人保健施設 記念寿では毎月 1 回第一木曜日（祝日の時は第二木曜日になる事もあり）『カフェ

ココロ』を開催しています。『カフェ ココロ』とは認知症の人とそのご家族、認知症に関心のある方のためのカフェです。医療・介護の専門職と認知症への正しい理解を深めながら、楽しいひと時を過ごすための場です。

4 月は、『認知症について 認知症になったらどうすればいいのか？』制度やサービスを絡めながらお話しをさせていただきました。参加者からは要支援・要介護との違い、介護保険の仕組みが解ったとの声がありました。

講義の他にも体操やクラフトも行っております。4 月は「鯉のぼりの飾り」を作成しました。おしゃべりをしながら、スタッフもお手伝いをしながら楽しいひと時を過ごしました。『カフェ ココロ』開催中はスタッフが認知症についての相談も承っています。皆様のご参加をお待ちしています。



消化器センターだより(No.4)

消化器センター長 二宮 基樹

スーパーエイジャー



2014年の文科省の発表で高齢者の体力が向上し続けていることが発表されました。たしかに、昔に比べて高齢者が若返っているという感覚は多くの人が抱いていると思います。

肉体が若ければ活動範囲は広く人生は生き生きとしたものになるでしょう。

昔は55歳になれば定年退職で、60歳になれば赤いちゃんちゃんこを着せられ隠居生活への引導を渡されていました。しかし、定年はいまや60歳、さらには65歳、70歳へと延びる動きがあります。

他方、近年高齢者ドライバーの事故が目立つようになってきました。いくら身体が丈夫でも脳が衰えれば、人はアンバランスとなり人生は危うくなります。逆に、もし脳を若く保つことができれば人生は豊かになります。

マサチューセッツ工科大学の科学者チームは65歳以上でも脳の機能は20代と同じレベルという「スーパーエイジャー」を脳科学的に研究し、興味深い結果を報告しました。

スーパーエイジャーの脳はクロスパズルやオンライン頭脳ゲームに役立つ認知プロセスと関係する領域ではなく強い感情と結びついている領域が発達していたのだそうです。

そしてこの領域を活性化するためには、自分の限界を少し超える程度に無理をすることが大切だそうです。簡単なことや心地よいことばかりをしていたのでは若い脳を保つのは難しいそうです。

スーパーエイジャーは大変な努力をして一時的に辛くても、それを乗り越える能力に長けているのだそうです。不思議なことにその超えるべき限界は精神的な限界でも肉体的な限界でも効果があるそうです。

そして、この論文を紹介した人は具体的な方策として、いままで演奏したことのない楽器を習う、未知の言語を習う、自分の限界に挑戦できるイベントに取り組む、人前でパフォーマンスをする、などを勧めています。

大切なことは自分の目標を達成できるかどうかではなく、自分にとって少し無理をして自分の限界を超えることが大切だと述べています。

適度な運動を継続して肉体の健康を保ちつつ、時に自分の心身の限界に挑戦してみませんか。そうすればスーパーエイジャーへの資格を手に入れることができるかもしれません。

広島記念病院「理念」及び「憲章」

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

地域医療連携室

TEL 082 (503) 0730
 FAX 082 (503) 1010
 代表 広島記念病院
 TEL 082 (292) 1271
 FAX 082 (292) 8175

内科・外科

FAX 082 (503) 0722
 婦人科・小児科
 FAX 082 (503) 0723
 耳鼻科・皮膚科・泌尿器科
 FAX 082 (503) 1010

記念寿

TEL 082 (294) 8400
 FAX 082 (294) 8420
 合庁(合同庁舎診療所)
 TEL 082 (221) 9411
 FAX 082 (223) 6204
 歯科診療所
 TEL 082 (294) 7858

外来診療担当表

平成30年8月1日より、下記のとおり診療いたします。赤字が変更箇所です。

診療科	受付時間	区 分	月	火	水	木	金	土
内 科	8:30~11:00	一 診	赤 木	阿座上	赤 木	赤 木	城 戸	当番医
		二 診	江 口	今 川	城 戸	江 口	今 川	
		三 診	木村(茂)	山 田	木村(茂)	阿座上	山 田	
総合診療科	8:30~11:00	四 診		横 崎		石田(亮)		休 診
外 科	8:30~11:00	一 診	宮 本	横 山	坂 下	宮 本	坂 下	当番医
		二 診	橋 本	小 林	橋 本	横 山	小 林	
		三 診	角 舎	二 宮		二 宮	豊 田	
		四 診			坂 下	宮 本	木村(ま)	
	13:00~14:30		宮 本	小 林	坂 下	宮 本	坂 下	
肛門外科	8:30~11:00			石田(裕)	石田(裕)		手 術	休 診
	13:00~14:30		石田(裕)	手 術	石田(裕)		石田(裕)	
婦人科	8:30~11:00	一 診	横 田	横 田	横 田	横 田	横 田	休 診
小 児 科	8:30~11:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	休 診
	13:00~13:30	健診・予防接種	岸	岸		岸	岸	
	14:30~16:00	一般診療	岸	岸		岸	岸	
耳鼻咽喉科	8:30~11:00	一 診	森	森	森	森	森	休 診
	13:00~14:30				手 術	森	特殊検査	
皮膚科	8:30~11:00		松 尾				森脇 又は 大塚	
泌尿器科	9:00~11:00						林	
眼 科	8:30~11:00	一 診	金 本	金 本	金 本	金 本	日 山	休 診
		二 診		藤 東		藤 東		
	午後(予約のみ)	手 術	検 査	手 術	検 査			
広島記念 診療所 歯 科	8:30~11:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	電話番号 294-7858
	13:00~16:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	
ストーマ外来	8:30~11:00			森 本	森 本	山本(由)	山本(由)	

土曜日は内科一診、外科一診のみ診察しております。

* 歯科を除く各診療科の再診受付は8:00よりおこなっております。

* 部分は女性医師です。

* 8月1日は開院記念日のため、休診になりますのでご了承ください。

広島記念病院案内図



交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、
 本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
 広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて
 本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
 広島駅前よりタクシーで約10分

駐車場

立体駐車場62台

身障者専用駐車場3台

詳細は病院ホームページをご覧ください